

令和8年度都立中野工科高校・全日制における教科指導の重点

| 重点科目 | 重点課題 | 取組 | 発展的取組 |
|------|--|--|--|
| 国語 | 「書くこと」への指導を充実し、文章作成能力を育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年生はトレーニングノートを用いて週1回の漢字小テストを実施する。 ・2年生、3年生は毎回の授業にて漢字小テストを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定を校内で3回実施し、漢字の定着率を評価する。 ・文章の作成指導をとおり、漢字を活用し豊かな表現力を身に付ける指導を実践する。 |
| 数学 | 生徒の基礎学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・小単元ごとの小テストを実施する。 ・生徒の興味・関心を引き出し、対話的な授業展開を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、自ら主体的に考え、他者と協働的に取り組む態度を養う。 |
| 英語 | 「話すこと」の指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学期に2回以上パフォーマンステストを実施する。 ・オンライン英会話の指導を充実する。 ・JET/ALTのスピーキング教材の開発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを活用する。 ・オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックを活用する。 ・JETを活用した放課後の英会話レッスンの開発を行う。 |
| 地理歴史 | 社会的事象に関心を持ち、多面的・多角的に考察できる能力を育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について、それぞれの特徴を理解し、相互の関連を踏まえて考察させ、表現させる。 ・振り返り活動を毎時間行い、知識の定着や理解を深めさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末を活用し、調べ学習を充実させ、その成果を表現させる。 ・自ら仮説を立て、その検証を資料を用いて行い、表現させる。 |
| 公民 | 社会的な見方を通して公民としての資質を育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「聴く」「話す」という基本動作を徹底し、身に付ける。 ・「話す」という動作について、自ら表現する場面を多く設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について、多面的・多角的な視点で捉え、公民としての社会参画を考察する。 |
| 理科 | 科学的に探究する学習活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・予測・推測する力を育成する。 ・探究する力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・予測、見通しを立て、実験操作を行い、結果をまとめ、考察する力を育成する。 ・科学的に探究する学習活動の相互参観を実施する。 |
| 保健体育 | 豊かなスポーツライフを継続することや健康を保持増進する資質・能力を育成することへの指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種目において個々で取り組む時間を設け、自身の成長を実感させる。 ・ICT機器を活用したわかりやすい授業を実施し、ライフステージに応じた健康課題について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・種目選択を実施し、主体的に取り組みながら共に学習する態度を育成する。 ・自身のライフプランに即した健康課題を考察し、予防的観点から自身の生活習慣を整える取り組みを実践する。 |
| 家庭 | 「実践的・体験的な学習」の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習、実験、調べ学習などを中心に知識・技術を修得し、日常生活で実践できる力を身に付けさせる。 ・日常生活の課題を考え解決する力を身に付けさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習、被服実習、保育実習、調べ学習の取り組みを充実させる。 ・プレゼンテーションの機会を作り、自分の意見を発表させる。 |
| 工業 | 「課題解決」につながる探究的な学びの実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ専門的な知識、技術を活用しながら解決できる課題設定の工夫を取り入れた授業を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決において主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 ・予想や仮説を立て、その結果をまとめ考察する力を育成する。 |